



調査報告書

---

# 光回線の開通ストレス調査【2025年】

---

調査実施：株式会社ALL CONNECT / オールコネクトマガジン編集部

発行日：2025年11月27日

## 調査概要

調査目的	光回線の開通工事における待機期間中のストレス実態と、その原因・代替手段の利用状況を明らかにする。また、光回線選択時の重視ポイントも把握し、消費者の意識を可視化する。
調査方法	インターネット調査 (QIQUMO)
調査時期	2025年11月
調査対象	インターネット回線利用者 (10代~60代以上の男女)
有効回答数	398件 (スクリーニング・トラップ除外後)
調査実施機関	株式会社ALL CONNECT / オールコネクトマガジン編集部

## 調査結果サマリー

- ・ 光回線利用者 (n=218) のうち、開通までにストレスを感じた・やや感じたのは計24.3% (53名) にとどまり、約75%はストレスをほとんど感じなかった。
- ・ ストレスの理由 (複数回答・n=53) では「ネットが使えない期間が長かった」が39.6%で最多、次いで「業者の連絡が遅い」26.4%、「立ち会いが面倒」24.5%が続く。
- ・ 開通待ち期間の代替手段として「インターネットを利用しなかった」が50.9%で最多。ホームルーター (23.4%)、テザリング (14.2%) が次に多い。
- ・ 光回線選択時に最も重視するポイントは「料金」 (41.7%) が断トツ、「通信速度」 (22.1%)、「工事不要で使えるかどうか」 (10.6%) と続く。
- ・ 申込から開通までの日数は「覚えていない」が最多 (44.5%)。記憶に残っている中では「1週間以内」 (23.4%) が最も多い。

## 調査結果詳細

### Q1. 現在の年代 (n=398)

年代	回答数	割合
10代	54	13.6%
20代	90	22.6%
30代	68	17.1%
40代	61	15.3%
50代	42	10.6%
60代以上	83	20.9%

20代が22.6%と最も多く、次いで60代以上（20.9%）、30代（17.1%）と続く。幅広い年代から回答を収集した。

### Q2. 利用中のインターネット回線 (n=398・全体、および年代別)

#### 全体

回線種別	回答数	割合
光回線	218	54.8%
その他	74	18.6%
モバイル回線	55	13.8%
ホームルーター	51	12.8%

光回線が54.8%と過半数を占める。以降の設問（Q3～Q7）は光回線利用者（n=218）を対象とした。

### 年代別（光回線利用率）

年代	光回線利用者数	光回線利用率
10代	24	44.4%
20代	44	48.9%
30代	34	50.0%
40代	34	55.7%
50代	28	66.7%
60代以上	54	65.1%

年代が高いほど光回線利用率が高く、50代・60代以上では65%超。若年層はモバイル回線やホームルーターを利用する傾向がある。

### Q3. 利用中の光回線事業者（n=218・光回線利用者）

光回線事業者	回答数	割合
その他	63	28.9%
ドコモ光	62	28.4%
auひかり	45	20.6%
ソフトバンク光	28	12.8%
NURO光	10	4.6%
楽天ひかり	9	4.1%
GMOとくとくBB光	1	0.5%

ドコモ光（28.4%）・auひかり（20.6%）の大手2社で約半数を占める。その他（28.9%）も多く、多様な事業者が利用されている。

#### Q4. 申込から開通までの日数 (n=218・光回線利用者)

全体

日数	回答数	割合
覚えていない	97	44.5%
1週間以内	51	23.4%
2週間前後	32	14.7%
1か月前後	23	10.6%
2か月以上	15	6.9%

「覚えていない」が44.5%で最多。記憶に残っている回答者では「1週間以内」が最多（23.4%）で、長期化するほど割合が減少する。

#### Q5. 開通までのストレス (n=218・光回線利用者)

全体

回答	回答数	割合
あまり感じなかった	91	41.7%
全く感じなかった	74	33.9%
やや感じた	37	17.0%
感じた	16	7.3%

「やや感じた」「感じた」を合計すると24.3%（53名）。約75%の光回線利用者はストレスをほとんど感じておらず、開通プロセスへの評価は概ね良好といえる。

年代別（ストレスあり・やや感じた合計）

年代	n	感じた	やや感じた	ストレスあり合計
10代	24	8.3%	12.5%	20.8%
20代	44	13.6%	27.3%	40.9%
30代	34	8.8%	17.6%	26.4%
40代	34	0.0%	20.6%	20.6%
50代	28	7.1%	17.9%	25.0%
60代以上	54	5.6%	7.4%	13.0%

20代でストレスを感じた割合が40.9%と最も高く、60代以上では13.0%と低い。若年層ほどストレスを感じやすい傾向がある。

Q6. ストレスを感じた理由（複数回答・n=53・ストレスあり）

理由	回答数	割合
ネットが使えない期間が長かった	21	39.6%
業者の連絡が遅い	14	26.4%
立ち会いが面倒だった	13	24.5%
工事日がなかなか決まらない	11	20.8%
説明が不十分だった	9	17.0%
引っ越し時期に間に合わなかった	7	13.2%
機器の取り扱いが難しかった	1	1.9%

ストレスの最大要因は「ネットが使えない期間が長かった」（39.6%）。次いで業者側のコミュニケーション問題（連絡の遅さ・工事日の未確定）が多く挙げられた。

## Q7. 開通待ち期間の代替手段（複数回答・n=218・光回線利用者）

全体

代替手段	回答数	割合
インターネットを利用しなかった	111	50.9%
ホームルーター	51	23.4%
スマホのテザリング	31	14.2%
ポケットWi-Fi	20	9.2%
WiMAX	10	4.6%

半数以上（50.9%）が開通待ちの間はインターネットを利用しなかったと回答。代替利用者ではホームルーターが最多で、テザリングも14.2%が活用している。

## Q8. 光回線選択時に最も重視するポイント（n=398・全体）

全体

重視ポイント	回答数	割合
料金	166	41.7%
通信速度	88	22.1%
工事不要で使えるかどうか	42	10.6%
サポート対応	40	10.1%
開通までの早さ	30	7.5%
キャンペーン内容	25	6.3%
その他	7	1.8%

「料金」が41.7%と断トツで1位。「開通までの早さ」を重視するのは7.5%にとどまり、開通速度よりもコストや性能が選択基準の中心となっている。

**年代別（料金を最重視する割合）**

年代	n	料金を最重視
10代	54	29.6%
20代	90	40.0%
30代	68	42.6%
40代	61	47.5%
50代	42	52.4%
60代以上	83	41.0%

料金重視は50代（52.4%）・40代（47.5%）で特に高く、10代（29.6%）が最も低い。10代はサポート対応や工事不要を相対的に重視する傾向がある。

## 調査方法の詳細

### 調査ツール・実施方法

QIQUMOを使用したインターネット調査。回答者はQIQUMOのモニターパネルから募集した。

### スクリーニング条件

インターネット回線を現在利用している10代～60代以上の男女。

### 除外条件

トラップ設問（注意確認問題）に誤答した回答者を除外。業種除外は適用なし。有効回答数398件はトラップ除外後の数。

### 回答者属性

属性	区分	回答数	割合
性別	男性	204	51.3%
性別	女性	194	48.7%
年代	10代	54	13.6%
年代	20代	90	22.6%
年代	30代	68	17.1%
年代	40代	61	15.3%
年代	50代	42	10.6%
年代	60代以上	83	20.9%

男女比はほぼ均等（男性51.3%、女性48.7%）。年代は20代が最多（22.6%）、60代以上も20.9%と多い。

## データの利用条件・引用ガイドライン

---

### 出典表記

本データを引用・転載する際は、以下の出典を明記してください。

#### 出典記載例（個別調査を引用する場合）

出典：オールコネクトマガジン「光回線の開通ストレス調査」（<https://all-connect.co.jp/magazine/opticline-installation-workstress/>）

各カードの「記事を読む」リンク先が出典URLです。データライブラリ全体を参照する場合は <https://all-connect.co.jp/magazine/data/> をご利用ください。

### 利用可能な範囲

- ・ 記事・レポート・プレゼン・SNS等での引用・転載（出典明記のうえ事前連絡不要）
- ・ グラフ作成・独自分析・再集計などの二次利用（出典明記のうえ可）
- ・ 商用目的での利用（出典明記のうえ可）

### 禁止事項

- ・ 元データの改ざん・調査結果を誤認させる文脈での使用
- ・ CSVやPDFファイルの再ホスティング・再配布

### お問い合わせ

データの詳細・調査に関するご質問は [お問い合わせフォーム](#) よりご連絡ください。